

北九州市立東朽網小学校 P T A

〒800-0232 福岡県北九州市小倉南区朽網東3丁目4番1号

TEL 093-471-4114

1 会員数及び会費（平成21年度）

区分	P会員	T会員	その他の会員	計
会員数	166人	18人	0人	184人
一人当たりの会費（年間）	4800円	4800円	0円	

2 収支決算（平成20年度）

収入の部	費目	収入額	摘要（主な使途） 交通費 涉外費 慶弔費 需要 費 会議費 備品費 負担費 通信費 事業費
	会費収入	864,400円	
	その他の収入	391,783円	
支出の部	費目	支出額	
	運営費	307,951円	
	事業費	515,480円	
	繰越金	432,752円	
	支出合計	1,256,183円	

3 設けられている会則、運営規則、会計規則

会則などの名称	制定・改定年月日	要旨
北九州市立東朽網小学校 P T A 規約	昭和58年5月14日	施行
	平成19年1月15日	一部改正
東朽網様学校 P T A 常置委員会規則	昭和58年5月14日	施行
	平成19年1月15日	一部改正
東朽網様学校 P T A 特別委員会規則	平成19年1月15日	制定

4 発足から今日までのあゆみ

昭和58年5月14日	北九州市立東朽網小学校 P T A 発足
平成10年5月	お助けマン制度（全世帯参加型）が始まる
平成14年4月	P T A 読書ボランティアによる読み聞かせ開始
平成14年10月	小倉南区小学校 P T A 連合会研修大会 活動内容発表
平成18年11月	もちつき大会を P T A 行事として実施するようになる
平成21年11月18日	優良 PTA 文部科学大臣表彰

## 5 地域の概要

一標高 531 メートル、靈峰水晶山の水源より、千本桜で有名な昭和池は今年も神幸祭の起源である曾根平野に送り出す水を満々と湛えています。—これは神幸祭という祭りで繰り出される、朽網東山車の紹介文の一部分である。この言葉からもわかるように、自然豊かな地域、それが東朽網である。東朽網は北九州市の東端にあり、同市で一番早く朝日が昇る場所であり、2006年に新北九州空港が開港し、さらに発展しつつある地域でもある。地域、学校、保護者は、元気で明るい東朽網っ子、楽しい東朽網小学校、縁豊かな人情あふれる東朽網校区を実現するため、三位一体となり手を取り合ってともに歩んでいる。また、地域には神社や多くの史跡が点在しており、伝統文化である神幸祭などの各祭り行事や、地域の伝統芸能である、口説き踊り等の継承、保存そして発展に力を注ぐ地域もある。

## 6 組織運営の状況

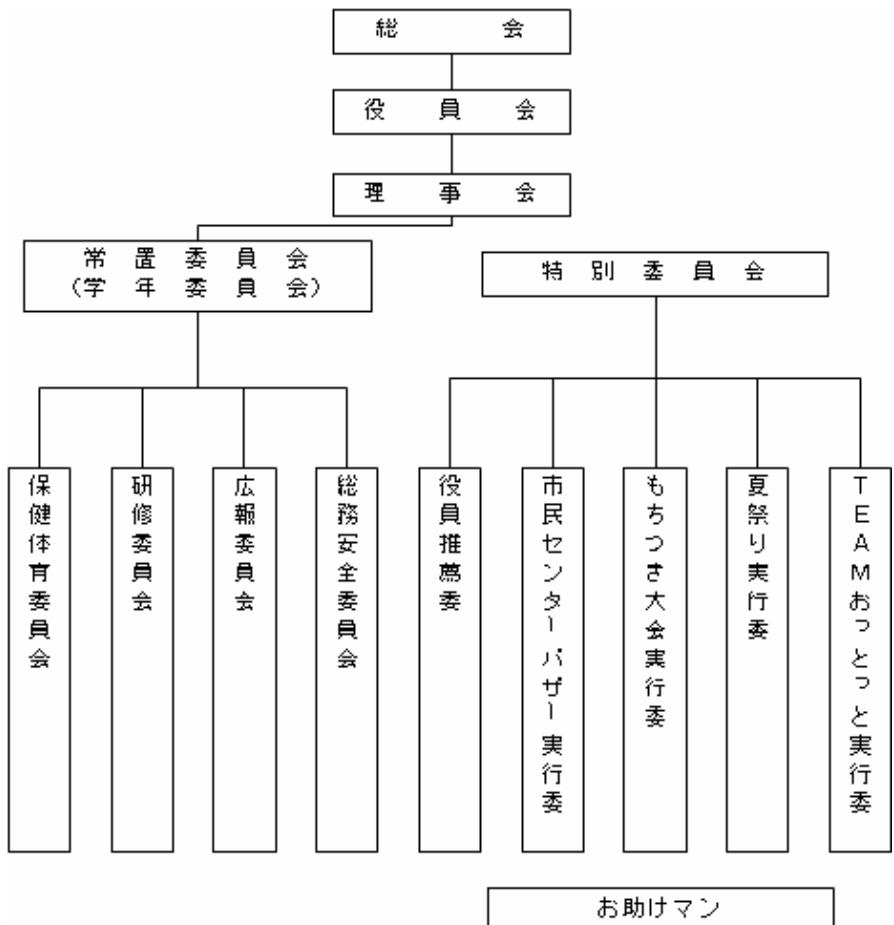
保護者・教師の P T A 加入率、会費の納入状況はともに 100 % である。内部組織として総務安全・保健体育・広報・研修の 4 委員会に加えて、特別委員会である夏祭り・もちつき大会・市民センターバザー・役員推薦の各実行委員会と父親をメンバーとする「TEAMおっとっと委員会」が組織されている。

## 7 広報活動の状況

広報委員会より東朽網小学校広報誌「ふれあい」を年3回発行している。内容は学校の教育活動・P T A 活動の紹介のほか、地域のトピックなども取り上げている。写真や見出しを効果的に使い、各行事の内容を楽しく伝えることができるよう委員会を中心に全員で工夫をしている。また、みんなの機関紙となるようにアンケートの掲載や会員の声を取り上げることに努めている。

## 8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

東朽網小学校では、「志矩（しのり）を目指す子どもの育成」を学校教育目標に掲げている。「志矩」は、『論語』にある「十有五にして学に志す（志学）」「七十にして心の欲する所に従って矩をこえず（従心）」に拠っている。「志学」に始まり「従心」に至る孔子の崇高な理念を、生涯にわたって子どもの自らの人生道と教師が教育の営みを遂行していく学校教育の基盤としている。こうした理念のもと、東朽網小学校は、「自然に学び」「人に学び」「書に学ぶ」教育を推進している。平成21年5月8日に開館した四季彩図書館を中心に、読書指導に熱心に取り組んでおり、



家庭での読書活動の推進にPTAとしても力を入れている。

## 9 成人教育に関する諸活動の状況

研修委員会では、年に5回の家庭教育学級を実施し、年5回、人権同和研修会に積極的に参加し、成人教育に関する知識を深めるよう努めている。

近隣校である朽網小学校、南曾根中学校の各校PTA研修委員会と連携して、年数回の講演会を共同開催している。参加者が減少傾向であったが、3校が協力して行うことで参加者の増加と効率化を図るとともに、小さな子を持つ母親のために託児を設けるなど、配慮をしている。

## 10 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

本校は集団登校を実施している。国道と4箇所ある踏切では、PTAによる踏み切り、信号の旗持ち当番による登校指導で児童の安全が守られている。また校内はスクールヘルパーによるパトロール等が行われ、下校時には地域のボランティアの方々による見守りにより児童の安全確保が図られている。月2回実施される、地域の取り組みである生活安全パトロールにPTAからも参加し、地域と一緒に防犯活動に取り組んでいる。また、「こども110番の家」活動に取り組み、校区内の多くのボランティアに登録をして頂いている。

自然豊かな土地柄と「踏んばる」子どもづくり、大人と子どもの心の触れ合いの場づくりとして以下のようなことに取り組んでいる。

- ① 本校児童によるドッジボールチームとソフトボールチームが組織され活動している。PTA役員からも監督やコーチとして指導にあたっている。
- ② 学校施設を利用した「遊び場開放」事業を推進して、児童の安全な遊び場の確保と触れ合いを大切にしている。
- ③ 学校施設を利用した宿泊キャンプを開催。本年度は、100mそうめん流し、きもだめし、キャンプファイヤーなど楽しい企画盛りだくさんで行われた。
- ④ 三世代交流の場として、もちつき大会を開催。地域の方々、保護者の協力により米作りからもちつきまで、子ども達の貴重な体験の場になっている。
- ⑤ 夏祭りや市民センター文化祭においてバザーを実施。また、子ども達向けにゲーム大会等を実施し、祭りを盛り上げている。

## 11 地域の教育環境の整備に関する活動

地域の最大の祭り「神幸祭」では、子供たちも太鼓や鉦を鳴らして祭りを盛り上げる。本番までたくさんの練習が必要で、PTAもその指導に積極的に関わっている。

春と秋の「東朽網クリーンアップ作戦」では校区内の清掃活動に全校児童で取り組んでいる。PTA会員も活動に積極的に参加し、地域住民の方々からも感謝されている。

## 12 今後の課題

平成19年度にそれまでの理事会等の組織体系を見直し、約半数の人員でPTAの理事会などを構成することと改正した。活動の内容自体はほとんど削減することなく、半数の人員とし3年が経過したが、今後も委員会間の業務量の調整をしていかなければならない。

平成10年度からPTAボランティアお助けマンを立ち上げ、現在、全保護者がお助けマンに登録して、年1回以上PTAの活動を応援するというルールを作っている。10年以上継続しているが、社会の変化に伴いPTA活動に参加することが難しい家庭も出てきているので、参加しやすい活動内容を検討し参加促進につなげていきたい。